

# 徳島県GIGAスクール構想について

令和2年12月  
総合教育センター

1

子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けて  
«文部科学大臣メッセージのポイント»

- Society 5.0時代に生きる子供たちにとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテム
- 1人1台端末環境は、令和の時代における学校の「スタンダード」
- 最先端のICT教育を取り入れ、これまでの実践とICTとのベストミックスを図る
- 多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びの実現
- ICT環境の整備は手段であり目的ではない
- 学校・教育委員会のみならず、各自治体の首長、調達・財政・情報担当部局など関係者が一丸となって、実現に取り組む

(令和元年12月19日)

2

1. G I G Aスクール構想とは
2. スケジュールは
3. 学校の I C T環境は
4. 何から始めたらいいの
5. 指導のポイントは
6. 参考にできるサイトは

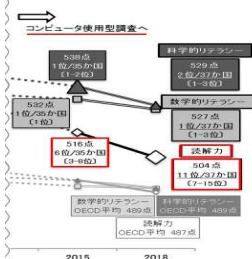
## Global and Innovation Gateway for All GIGAスクール構想の実現に向けて

～だれ一人取り残すことなく、公正に個別最適化された、創造性をはぐくめる学びの場の実現へ～

### PISA2018調査結果

読解力は、高得点のグループに位置するが、前回より平均得点・順位が優位に低下  
⇒ コンピュータ画面での長文読解の慣れなどの要因が複合的に影響した可能性

読解力とは、自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むことができる力



すべての子どもたちが、国境を越えて世界規模で活躍したり、新たなものを創造し変革を起こすことで、経済や社会に価値を生みだしたりするための、扉を開けることができる、学校にしていこう。

### 学習指導要領改訂の方向性

予測できない変化を前向きに受け止め、主体的に向き合い・関わり合い、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となるための力を子供たちに育む学校教育の実現を目指す。

#### 学習指導要領改訂の情報教育・ICT活用教育のポイント

- 情報活用能力を言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけた
- 学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を明記

### 国の動き

【令和元年6月28日 学校教育の情報化の推進に関する法律 公布・施行】

【令和元年12月5日 閣議決定 安心と成長の未来を拓く総合経済対策】  
Society5.0という新たな時代を担う人材の教育や、特別な支援を必要とするなどの多様な子供たちをだれ一人取り残すことのない一人一人に応じた個別最適化学習にふさわしい環境を速やかに整備するため、学校における高速大容量のネットワーク環境校内LANの整備を推進するとともに、特に、義務教育段階において令和5年度までに、全学年の児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指すこととし、継続的に財源を確保し、必要な支援を講ずることとする。あわせて教育人材や教育内容といったソフト面でも対応を行う。

【令和2年4月30日 4月補正予算成立「GIGAスクール構想加速化」】

### ICTを活用した学習方法

学習形態	ポイント	実践事例
一斉学習	教員による教材提示	子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業
個別学習	個に応じた学習 調査活動 思考を深める学習 表現・制作	一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習
協働学習	発表や話し合い 協働での意見整理 協働制作	全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる学習



ICTが文房具と同じように活用されることで情報活用能力が育成されるとともに、主体的、対話的で深い学びに効果がある。

# GIGAスクール構想で何が変わるのか



# 徳島県GIGAスクール構想とは

**目標** 1人1台端末を積極的に活用し、平時、有事を問わず、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを推進する。

**全国に先駆的実践**

**Society5.0に活躍するチェンジメーカーの育成**

**新時代に対応した資質能力の育成**

## 先端技術の活用による学びの変革

- 多様な教材 (動画, 画像, 資料など) を利用することで**学びの深化**
- Web会議を利用した海外等との学習活動による知見を広め、**国際感覚育成**
- **AI・ビッグデータ**を活用した**個別最適化された学びの実現**
- **高等教育機関との連携**による探究型教育の充実
- 特別な支援を必要とする児童生徒の資質・能力の育成
- オンライン教育による**平時・有事を問わない学びの連続性確保**

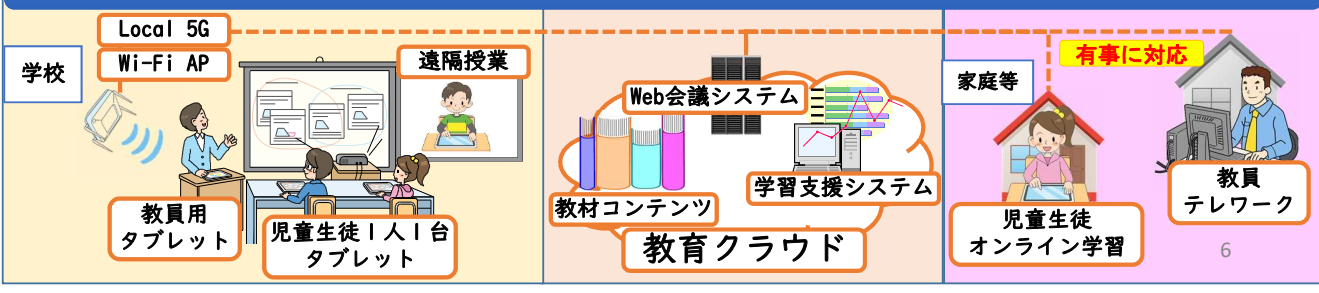


**発達段階に応じた施策の実施**

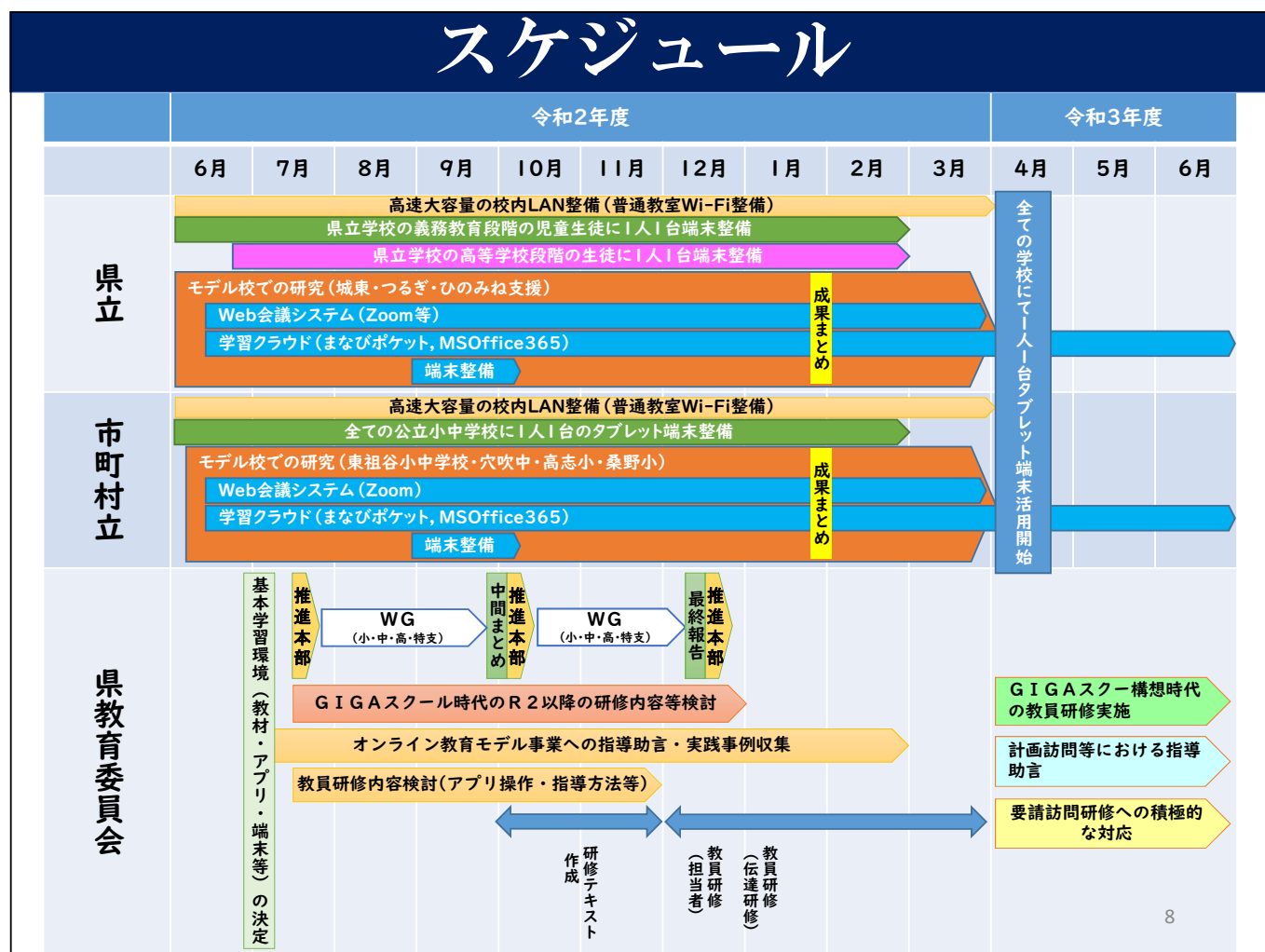
## 授業の変革による児童生徒の学びを深化

**全国屈指の光ブロードバンド環境を活用したICT環境を小中高特別支援学校に一体的に整備**

**ネットワーク基盤** 高速大容量のネットワーク、各普通教室等へのWi-Fi環境整備



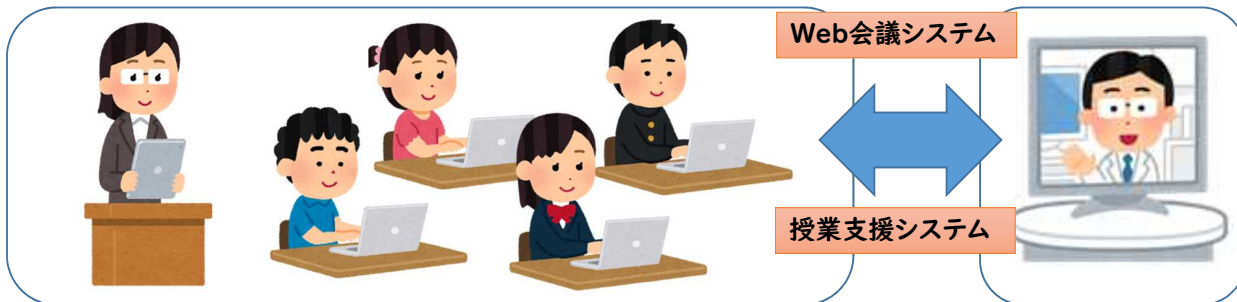
1. G I G Aスクール構想とは
2. スケジュールは
3. 学校の I C T環境は
4. 何から始めたらいいの
5. 指導のポイントは
6. 参考にできるサイトは





# 令和2年度EdTech活用モデル事業イメージ

## 遠隔授業



## 協働学習



## 交流授業

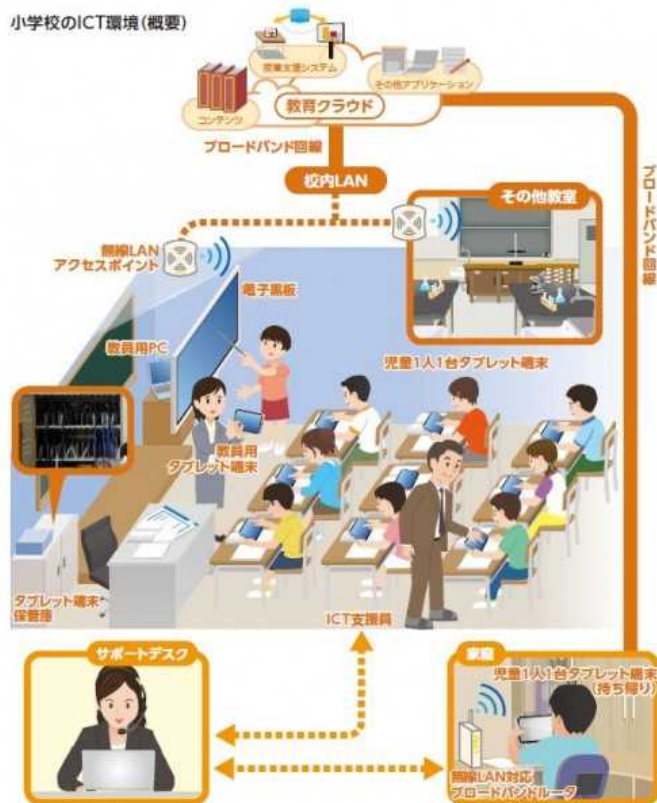


## Eラーニング



1. G I G Aスクール構想とは
2. スケジュールは
3. 学校の I C T環境は
4. 何から始めたらいいの
5. 指導のポイントは
6. 参考にできるサイトは

# GIGAスクール構想で実現するICT環境



出典 : <https://ict-eneews.net/zoomin/22koza06/>

11

## デジタル教科書

### 特徴

- ① わかりやすい授業ができる
  - ・ 学習情報の共有化 (教師の指示や各児童の考えがわかる)
  - ・ 話し合い活動の活性化
  - ・ 選択、拡大、書き込みによる学習内容の焦点化
  - ・ 視覚化、音声化による理解の深まり、広がり

⇒特に低位層児童の学力向上に効果あり
- ② 自由度の高い授業ができる
  - ・ 教科書を文や問題、絵、写真、図表に分けて活用できる
  - ・ 学年や教科を越えた学習が可能に (学びを縦・横に広げる)

⇒学習材としての教科書の活用が促進
- ③ 授業準備の効率化ができる



文科省:学びのイノベーション事業より

### 【学習者用デジタル教科書】

学習者用デジタル教科書は、小中学校用は前回の学習指導要領改訂である2015年から一部教科書会社から限定的に出てきましたが、この時は教材扱いでした。2019年から法制化され、正式に紙の教科書と同等となり、基本は紙との併用ですが、紙の教科書の代わりとして使用可能になりました。検定を受けた紙の教科書と全く同一の内容である事が求められています。

### ＜学習者用デジタル教科書＞



# 学習支援クラウドサービス（まなびポケット）

## 個別メッセージ機能



## ファイル共有機能



## 宿題提出機能



## クイズ・アンケート機能



## 学習ログ機能



## お知らせ機能

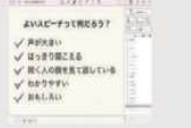


# 学習支援クラウドサービス（MetaMoJi）

### 一斉学習ページ



先生（発表者）が説明するときに使います。  
生徒は書き込みできません。



### 個別学習ページ



生徒が個別に学習するときに使います。  
先生は、生徒の書き込みをモニタリングし、個別に添削できます。  
生徒の画面を全員に見せることもできます。  
例) 問題演習、小テスト、意見の回収



### グループ学習ページ



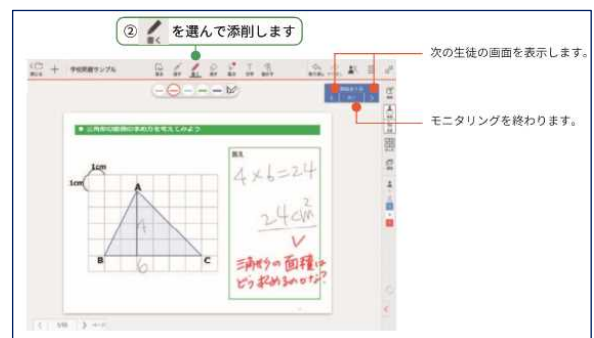
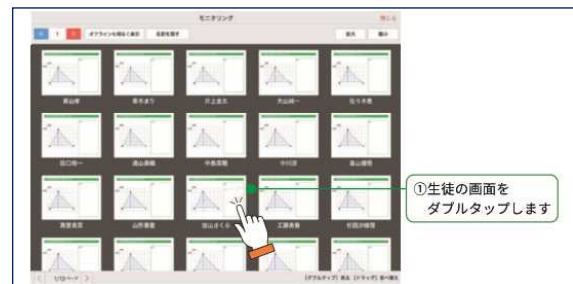
生徒がグループ単位で学習するときに使います。  
先生は、グループの書き込みをモニタリングし、グループごとに添削できます。  
グループの画面を全員に見せることもできます。  
例) 新聞作り、実験のまとめ



### クラス学習ページ

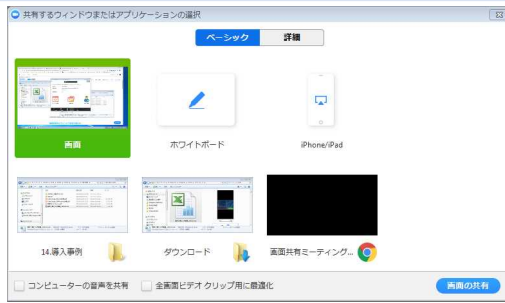


クラス全員で学習するときに使います。  
みんなの意見を1ページに集めることができます。  
例) 寄せ書き、ブレインストーミング

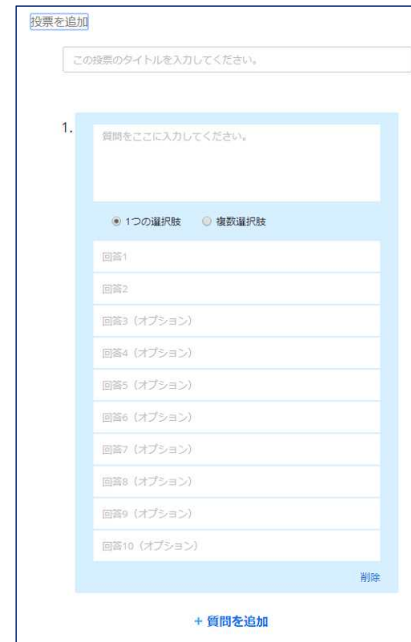


# Web会議システム (Zoom)

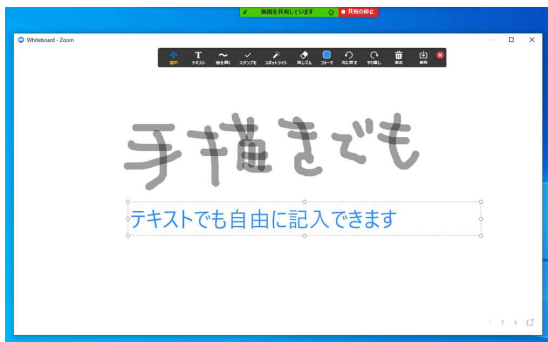
## 画面共有機能(資料を提示しながら授業を行う)



## 投票機能



## ホワイトボード機能



15

1. G I G A スクール構想とは
2. スケジュールは
3. 学校の I C T 環境は
4. 何から始めたらいいの
5. 指導のポイントは
6. 参考にできるサイトは

16



# 早急な対応が必要

教員がICTを活用した指導ができるように、  
研修等の実施が必要

- A) 機器及びアプリケーション等の使い方  
習得（ICTで何ができるのか）
- B) 研修計画や指導方法の再構築
- C) ICTの特性を理解した教科指導研究
- D) 年間指導計画や指導案作成方法研究

17

GIGAスクール構想時代を見据えた教科指導、研修などを計画的に実施

管理職研修



初任者研修や担当リーダー研修



研究授業等での活用



学校へのアウトリーチ型研修



18

1. G I G Aスクール構想とは
2. スケジュールは
3. 学校の I C T環境は
4. 何から始めたらいいの
5. 指導のポイントは
6. 参考にできるサイトは

## ポイントとなる10の学習場面

A 一斉学習	B 個別学習		C 協働学習	
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小・画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>		<p>タブレット・PCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>	
<p><b>A1 教師による教材の提示</b></p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p><b>B1 個に応じた学習</b></p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p><b>B2 調査活動</b></p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p><b>C1 発表や話し合い</b></p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p><b>C2 協働での意見整理</b></p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>
<p><b>B3 思考を深める学習</b></p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p><b>B4 表現・制作</b></p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p><b>B5 家庭学習</b></p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p><b>C3 協働制作</b></p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	<p><b>C4 学校の壁を越えた学習</b></p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>

文部科学省「教育の情報化に関する手引(追補版)」(令和2年6月)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/mext\\_00117.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html)

1. G I G Aスクール構想とは
2. スケジュールは
3. 学校の I C T環境は
4. 何から始めたらいいの
5. 指導のポイントは
6. 参考のできるサイトは

21

## 参考サイト

徳島県GIGAスクール構想

<https://gigaschool.tokushima-ec.ed.jp/>

GIGAスクール構想の実現について

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/index\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm)

GIGAスクール実現推進本部について

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/1413144\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/1413144_00001.htm)

「教育の情報化に関する手引」について

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/mext\\_00117.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html)

学習者用デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に関するガイドライン

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/139/houkoku/1412207.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/139/houkoku/1412207.htm)

「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策(最終まとめ)」について

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/1411332.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/1411332.htm)

22